

子どもたちからの「えっ!」、大人の「おお!」「えっ!」

202505

1. ことば探し

(1) 灯台

L/Iで始まることばを探していた2年生が灯台の絵を描いて見せてくれました。

“How do we say it in English?”

“う～ん, Light tower!”

“Wow, good guess! ... We usually say ‘lighthouse’.”

***この子どもの表現力(パラグラフする力)を大切に伸ばしたいと思いました。**

(2) 英語じゃない?

① 5年生が A/a がある英語だと思うものを探していました。

「タワマンは、tower manshion?」

“It is not Japanese. It’s a high-rise apartment/condo.”

***驚いたことに、condominium ということばを知っている6年生もいました。Wow!**

② 「ハンバーガーは hamburger、じゃあ、ハンバーグは hamburge?」

“It’s not English. It is a hamburger or hamburger steak.”

「ハンバーガーは、バーガーとも言うよね」

“Yes, it’s a buger.” 「a がないから、a のある単語のグループに入れなくて。」

「ええ～!」「ちがうよ。Harger だよ。」

「辞書で調べてみよう。」

「先生が**あってる!** a じゃなくて、u だった。」

2. 大人には描けない!

子どもたちが音声を聞いて描いた絵です。

A neck

Two ears

A nose

A chin

Two eyes

Hair

A mouth

Two cheeks

Two eyebrows



Four short legs
A big head
Two small ears
A big mouth
Two black eyes
A short tail
A black nose



*2年生になりたての児童と5年生になりたての児童が英語の指示を聞いて描いている様子を見ると、「short って?、leg って?、tail って?」と体の部位の英語表現は知っていたはずでも、short legs, short tail となるとわからなくなる2年生と形容詞がついても意味がわかる5年生と、学習歴の差はちゃんとみられたリスニング活動でした。

3. 音の連結への気づき: I am good at I am interested in I つずつ読むのかな?

6年生が、5月の運動会でそうらん節を踊りました。タイミングよく、教科書Unit 1 で得意なことや関心のある時の表現を学習しました。

You dance the Soran Bushi very well.

You're a good dancer.

You're good at the Soran Bushi.

I can't dance the Soran Bushi, but

I'm interested in the Soran Bushi.

Can you dance the Hula?

I'm good at the Hula.

と、口頭でのやり取りをした後、

You are good at the Soran Bushi.

I am interested in the Soran Bushi.

と板書すると、「goodat でなくて、good at、interestedin でなくて、interested in と離して読むのですか」と、スピーキングとライティングでの違いがあるのかと質問する6年生がいました。おお~!

*文字の提示は音への気づきを促しますね。

そして、得意・興味○×リサーチの後、ある児童が、“I'm good at cooking, but I'm not interested in cooking mushrooms. I don't like mushrooms.”と言うと、他のクラスメートは納得顔でした。

4. 曜日の学習thの音

① thの音

2年生が、各曜日の頭文字(オンセット)を T, Th, M, S, S, F, W の選択肢の中から選んでいました。()ursday には苦戦していて、まず F を入れて、金曜日に F を使うからと h を入れたり、hT を入れたりした後に、「hT では? なんだかおかしい。じゃあ、Th!」と、やっと Thursday となりました。

5. 日本語の介在

① 抜けている曜日

聞いた曜日の中で抜けているのは何曜日かを日本語で書き、できれば英語で書くようになっていたワークシートでしたが、英語学習2年目のある2年生を観察していると、音声を聞いて抜けている曜日を理解し、英語で曜日を書こうとしていました。その後で、日本語で曜日を書いており、ワークシートの指示とは逆順で回答していました。

③ 帰国子女のアルファベットの書き方

4歳から3年間ほどロンドンで過ごして日本に帰ってきた子どもが、アルファベットを学習し始めたとき、日本語の単語とむすびつけてアルファベットを書くのではなく、apple の A/a、fireman の F/f と英単語を言いながら、アルファベットを書いていた。

***日本語を介在しないで英語を聞いているようでした。**